

第 73 回日本選手権東北ステージ予選会の大会参加・運営に関するガイドライン

1, 大会参加に関して

- ① 大会関係者および参加チーム関係者は、平常時から新型コロナウイルス感染症対策を心がけ、こまめな手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用を励行し、検温をすること。
- ② 以下に該当する者は大会に出場できない。
 - ・ 試合前 2 週間以内に新型コロナウイルスの PCR 検査を受け陽性だった者および結果が判明しない者
 - ・ 試合当日に 37.5 度以上の発熱がある者、または新型コロナウイルスの感染症状がある者※試合前 2 週間以前に PCR 検査を受け、陽性だった場合は保健所の指示に従うこと。
- ③ 本大会は無観客試合とする。また、大会関係者および参加者は大会の 2 週間前から健康管理表を作成し、大会関係者は大会本部へ、チーム関係者は責任者がとりまとめて試合前にメンバー表と一緒に提出すること。
- ④ チーム関係者の会場の入場は、原則、試合開始の 1 時間前から 30 分前の間とする。ただし、1 日に 2 試合ある場合の 2 試合目はこの限りではない。また、大会両日の 1 試合目のチームの入場は 8 時 00 分とする。

2, 感染症拡大防止対策について

- ① 大会前にコロナ陽性患者が出た場合は、協会事務局、管轄保健所に速やかに必ず連絡をすること。また、大会中に発生した場合も同様である。
- ② 試合会場へ公共交通機関で来る場合はマスクを必ず着用、少人数に分かれて移動し、会話は少なめで大声は出さないこと。
- ③ 試合会場には設置されたアルコール消毒液により入場時に必ず消毒する。
- ④ 試合会場で使用不可区域には入らないこと。
- ⑤ 更衣室は会場ごとに指定された部屋（場所）を使用し、飲食をせず速やかに更衣し、使用の前後に手指をアルコール消毒すること。
- ⑥ タオル、スクイズボトルは個人用を準備し、共有・使いまわしはしないこと。
- ⑦ 試合前のアップは、会場ごとに指定された場所を使用し会場主任の指示に従うこと。また、外でアップをする際は、インドアシューズで行わないこと。
- ⑧ 試合前後やアップ前後の体育館以外の移動においてマスクを着用すること。
- ⑨ 試合前後のミーティング等は、密を避け行い大声は出さないこと。
- ⑩ 試合中ベンチ控え選手、役員は、距離を保って着席し、マスクを着用し（頻繁に交代する選手はこの範囲ではない）、大声を出さないこと。（規則において、ベンチで立って指示を出せるのは 1 人）
- ⑪ 前半終了後および試合終了後の各チームは、会場にあるアルコール液にてベンチを消毒してから移動すること。また、試合終了後は速やかに会場を退出すること。
- ⑫ チームのゴミ類は各チームで回収してビニール袋に密封して各自宅まで持ち帰ること。

3, 大会運営に関して（試合会場管理責任者、大会役員、オフィシャル担当）

- ① 大会開催に向けて、管理責任者、各部委員長を中心に綿密な打ち合わせをすること。
- ② 会場管理責任者、大会役員、オフィシャル担当は必ずマスクを着用すること。
- ③ アルコール消毒液を用意し、会場入口、試合会場内に設置すること。
- ④ オフィシャル担当は業務後に使った筆記用具等を消毒すること。
- ⑤ ハーフタイムや試合後は、可能な限り換気に配慮して管理すること。
- ⑥ 会場各所のチェックを怠らず、上記事項が守られているか確認すること。

以上__